

〒661-0033
 尼崎市南武庫之荘4丁目21の5
 兵庫県土建一般労働組合
 阪神支部
 TEL 06(4962)6334
 FAX 06(4962)6344
 振込みは毎月4日までにホ!
 ホームページアドレス
<http://www.hyogodoker-hanshishibu.com/>

建設ひょうご

発行所
 〒652-0802 神戸市兵庫区水木通5丁目2の5
 兵庫県土建一般労働組合
 TEL 078(576)6721(代)
 FAX 078(576)6726
 編集人 社保対教宣部長 森本 佳明
 (阪神支部)
当組合員の購読料は組合費に含まれています。

働く仲間にもひと声を

組織部宣伝カー走る

組合員の皆さまにおかれましては、日頃組合活動にご理解・ご協力がいただいております。現状、春の拡大月間の真最中です。支部組織部として、3月と4月に宣伝カーで阪神支部内の建築現場を回り宣伝ディッシュエトセラシを200人ぐらいの職員さんにも手渡ししました。しかし、なんともいっても組合への加入で多いのは、仲間からの紹介です。どうか、同じ現場で働く職人・一人親方等のかたがたに、ひと声加入を呼びかけてください。よろしくお願いいたします。



現場で対応



宣伝カー出発

『住技対部社会見学会』 (重要伝統的建造物群保存地区散策 及び日吉ダム)



場所、京都府南丹市美山町知井
 (かやぶきの里、他)
 日時、5月29日(日)8時15分集合
 支部事務所 17時30分散会予定
 参加対象者、組合員 コスモスの会員
 定員、26名(申込者17名以下の場合中止)
 参加費用、3500円(昼食付き)
 締切日、5月10日(火)
 振込先、尼崎信用金庫 南武庫支店
 普通 314302
 申込は、支部事務所まで。
 TEL 06-4962-6334
 多くの参加お待ちしております。

弟子と師匠の真剣勝負

四方転び踏台製作

青年部川西分会大工前垣将大さんが、今年支部から唯一人、全連総連主催第10回全国青年技能競技大会出場を目指して、3月28日(日)から2時過ぎ迄、支部事務所で開催された3回目の技能講習会に出席しました。講習は課題の四方転び踏台の製作で、3月22日から4月10日の実技選、計6回です。前垣さん、昨年は続々2回目の挑戦です。抱負は「今年は大賞を目指します」と。講師は神戸市北区有野町住居の大工、田村昌吾さんです。青年部時代、金賞を取り優勝されました。「彼は優秀です。今年は期待しています」今夜は墨入れ、経験豊富な師匠に教わる弟子、辛せそうでした。



左、田村師匠、右、前垣さん



真剣な墨入れ

健康は幸の源

兵庫県予防医学協会から保健師の先生に教えていただき、3月27日



無理をせず気持ちよく

参加者22人が腰痛予防のための食事と体操を学びました。体操は無理をせず気持ちよくなる軽い運動を継続する事が大切だと知りませんでした。

近年まれな桜日和りに恵まれた4月3日、6分會35人の仲間が花見の名所に集いました。昆陽池公園には伊丹南伊丹北、蓬川公園には大庄、中央、大物公園には小田南、小田北の仲間が美しい美味しい弁当とビールに、会話もはずみしました。



蓬川公園にて

満開の桜の下で

大庄 堀口岩夫

4月3日、大庄と中

第12回阪神支部分会組織活動者会議を3月20日(日)本部の井上書記次長を迎へ開催しました。



会議に取り組む仲間

参加者は支部、分会役員、コスモスの会、青年部の合計37人です。

中央、蓬川公園の桜の下で合同の親睦会を開催しました。

参加者は12人でしたが、最高の花見日和りで、お弁当も美味しいと言っていたら、次ももっと多くの人に参加していただけるよう頑張ります。



荒田 昇さん

心強い力添えに感謝

小田北 荒田昇

このたびは私の古稀に際しご丁寧なご祝詞とお祝いまで賜り誠に有難く心より御礼申し上げます。

このように大過なくこの年を迎えることができ手したのも、家族周囲の心強い力添えがあつてこそと感謝しております。

古稀とはいえまだまだまだ若い方々に負けないう気持ちで、これからもがんばっていきます。組合員、職員の皆様、幸多き豊かな人生になりますことを心より祈念しております。

まだまだ70年

立花南 山下勝之



山下 勝之さん

このたびは私の古稀に際しご丁寧なご祝詞とお祝い金を賜り誠にありがとうございます。これまで大過なくこれまで大過なく一般労働組合の皆様方の御蔭と改めて感謝申

気がつけば55年

園田西 高尾善朗

この度は皆様にお祝いでございまして、ありがとうございます。私は2月2日で70才になりました。

15才から今の仕事を始め、気がつけば55年になります。

しのげます。さて70年を振り返りかえってみますと、もう70年との思いと、まだまだ70年という思いがあり、前者は後何年生かされるか後者は現役が働きままだと、という思いで残りの人生をどう生きるのか、80年間連れ添った妻との長い人生若い頃から地域の福祉活動に携わり頑張っていました。このひかりの日びに夫婦二人の幸せを第一に願っています。

これから後何年働く事が出来るかわかりませんが、もう少し頑張ってみようと思っております。

